

『ZAITEN』葛西名誉会長の実態！シリーズ④

葛西氏はJR総連を排除できないJR東日本への不満を公言 JR東海側がマスコミに記事にしないよう圧力をかけた結果か

「葛西さんが松本さんへの不満を募らせた原因として、NHK副会長に親しい政治部記者OBを据えるよう求めた提案を、松本さんが呑まなかったためと説明されていますが、実際には報道現場への介入をめぐる確執が大きかったのです。松本さんは介入には抑制的だったので」（NHK幹部）

…（略）…この人事（**靱井氏の会長就任**）の背景にも葛西氏が深く関与したと言われる。…（略）…当人こそ表に出て来ないが、NHKをはじめとするマスコミに強烈な拘りを見せる葛西氏。

葛西氏はJR総連を排除できないJR東日本への不満を公言し、…（略）…松田昌士氏（元社長・会長、現顧問）を「無能」呼ばわりしていたという。

葛西氏がスキャンダルに見舞われたのが、1991年9月の写真誌『フォーカス』の記事。当時副社長だった葛西氏が大学教授夫人とホテルの部屋に入っていくところを隠し撮りした写真が、怪文書とともに大量にバラまかれたのである。…（略）…これに対しJR東海側は対策チームを組織したとされる。…（略）…

JR東海側がマスコミに記事にしないよう圧力をかけた結果か、複数の媒体が掲載を見送ったとされる。中でも「ゲラ刷りまで進みながら4頁の記事を校了直前に落とされた」と記者が語るのが、光文社発行の『週刊宝石』（現在廃刊）だ。元宝石記者が続ける。「輪転機が回る直前に記事がボツになるというのは長い記者経験の中でも前代未聞の出来事でした。…（略）…

監視の目は、JR東海を取材する新聞記者たちにも向けられてきた。…（略）…「批判的な記事を書く記者は徹底的にマークしていました。…（略）…それぞれの記者を”ランク付け”しているというのが共通認識でした」

そして勢い、怨念はJR総連との協調路線を止めようとしないJR東日本に向けられた。